

議会だより



No.187

発行：泉大津市議会／編集：広報広聴委員会／連絡先：議会事務局

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号

TEL 0725-33-1131 内線 2508 FAX 0725-33-3510

HPアドレス <http://izumiotsu.gsl-service.net/>



「泉大津市混声合唱団」

わくわくドキドキを歌声にのせて届ける活動をしている泉大津市混声合唱団の皆さんです。
2月29日に議場コンサートを行いますので、ぜひお越しください！（詳細は12Pに記載）

令和元年第3回定例会が12月4日から12月13日の間で開催されました。

一般質問要旨、議案審議の結果等を掲載しています。

目次

- 市政を問う 2～8P
一般質問要旨
- *掲載の順序は、発言順としています。
- お知らせ 9P
- 委員会視察 10P
- 市議会でおこなわれたこと
 - ・議案内容について、意見書 11P
 - ・議案の議決結果 12P

市議会の予定

●開催時間は、いずれも午前10時を予定しています。

開催日	会議名
2月25日(火)	市議会本会議(1日目)「議案審議・施政方針演説」
3月4日(水)	市議会本会議(2日目)「一般質問」
3月5日(木)	市議会本会議(3日目)「一般質問」
3月6日(金)	市議会本会議(予備日)「一般質問予備日」
3月9日(月)～	予算審査特別委員会「令和2年度予算審査」
3月19日(金)	市議会本会議(最終日)「委員長報告、議案審議」

★上記の日程は変更される場合があります。
詳しくは議会事務局(0725-33-1131 内線2508)までお問い合わせください。



令和元年
第3回定例会

一般質問

第3回定例会（12月定例会）では、13人の議員が12月4日、5日の2日間にわたり一般質問を行いました。各議員が行った質問から各1項目を要約して掲載しています。各議員のQRコードから録画放送をご覧ください。

市 政 を 問 う

泉大津駅西側ロータリー



丸谷正八郎
(市民クラブ)



質問

答え

若い世代の定住促進のための子育て・就業支援は就業環境を整備し子育て環境の充実を促進する

質問 本市では、若い世代の定住促進につながる事業として現在どのような事業を展開しているか。

答え 子育て支援として、子ども医療費助成の通院を中学3年生まで引き上げ、泉大津駅高架下に親子広場ココフレアをオープン。子育て環境の充実として、中学校給食の実現、幼稚園・保育所・認定子ども園では、あしゆび体操を実施。また子ども達が生き抜く力をつけるための思考力・発想力・創造力を養うグローバル人材育成事業を行った。

質問 若い世代が定住する条件として子育て環境の充実が挙げられるが、もう一つは雇用先が市内にあれば、もっと良い環境となる。本市では企業誘致による市民雇用の促進や職場環境改善の啓発などを行い雇用の安定を図ろうとしているが、雇用促進に結び付いていない。これからは仕事の仕組みが大きく変わってくる、会社に行かずに自宅で仕事ができる時代になってくる。5Gが来年から順次、国内でサービスの開始を予

定している。5Gは社会インフラを一新させ、生活を大きく変える可能性がある。このような通信システムの変化に対応できるまちづくりを、他の自治体より先行して行う必要があると思うが見解は。

答え 5Gを初めとした技術革新は産業構造・就業構造・個々の人の働き方にも大きな変化を与えるものと考えられる。テレワーク・モバイルワーク・クラウドソーシングなど働く場所や時間に縛られない働き方が可能な時代となってくる。今までにない新しい形の就業支援を構築していくことが不可欠と考える。5Gを初めとする未来技術の活用も意識し、地域課題の解決や生産性・利便性を高めるまちづくりに努める。

要望 通信システムの更なる変化に加えさまざまな仕事の在り方や若い世代のライフスタイルも変わってくる。また仕事が多様な形で増えてくる。その辺を十分把握しながら他の自治体に負けないよう5Gに対応できるまちづくりを要望する。



村岡 均 (公明党)



質問

障がい者手帳の
カード化について

府民全体の福祉の視点
で導入を検討する

答え

質問 身体障がい者手帳や精神障がい者保健福祉手帳の様式などを定めた厚生労働省の省令が改正され、本年4月から交付主体の都道府県や政令指定都市、中核市の判断でカード型の手帳が発行できるようになった。これに対する本市の見解は？

答え 大阪府においても、現在、カード型手帳の発行について実現のための課題や方策について整理を進めている段階であり、本市としても府内自治体間での意見調整に参画している状況である。

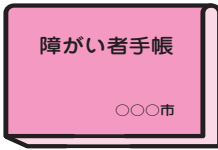
質問 国において、わが党にカード化の要望をいただいた障がい者団体の責任者は「長年、障がい者手帳を使っているが、大きくて財布に入らず持ち運びに不便である。また、交通機関などを利用するたびに開いて提示するため、傷みやすいことも悩みの種になっていた。手帳がカード型になることで利便性が高まることは間違いない」と言われている。本市の身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付人数は？

答え 令和元年10月末現在、身体障がい者手帳が3235名、精神障がい者保健福祉手帳が658名である。

質問 今回、カード化について質問するきっかけとなったのは、障がい者手帳をお持ちの人より、障がい者割引に対応したICカードについて相談を受けたことである。

答え 大阪府が手帳のカード化を導入した場合、本市としても導入を検討してもらいたいが見解は？

答え 府内の自治体間で導入にばらつきがあると、他の市町村に転居した場合、新たに作成したカード型手帳を紙ベースの手帳に戻す必要が出てくる等、障がいをお持ちの方に不便を招く可能性があり、大阪府民全体の福祉の視点を持って導入を検討する必要があると考える。



◎その他の質問

- ・住宅用火災警報器について
- ・市民会館等跡地活用基本計画（概要）について



堀口 陽一 (立志会)



質問

財政悪化の市立病院で
市民の命を守るのか

病院機能の再編連携で市
民の安心安全を確保する

答え

質問 市立病院平成30年度決算と今後の資金不足額・率の見直しは。また経営健全化基準に達するのか示せ。

答え 財政健全化法上の資金不足額は約4億5000万円、資金不足比率は8・8%。今後の収支見直しは一般会計からの繰り入れ後でも多額の赤字。財政状況は厳しく、数年以内に資金不足比率が財政健全化基準の20%に到達することが予想される。

質問 今回示された市立病院の連携再編の方向性や考え方を示せ。

答え 連携再編の開設時期は、令和5年度中を目指す。体制は病床機能の再編分化により、新たに300床程度の高度急性期病院を建設予定。これを公設民営の指定管理に委ねることを予定しており、現在の市立病院は周産期、小児科に特化し、公設公営で運営。

質問 市立病院の連携再編、おのこの病院が果たす役割について示せ。

答え 新たに建設する高度急性期機能を担う市立病院は、高度化に伴う救急受け入れ体制の充実により、市

民の安心安全につながる医療提供体制の強化が図られる。現在の市立病院は、強みである産科・小児科双方の一貫した総合医療に特化した（仮称）小児周産期センターとして府中病院から機能の集約化を図ることで、経営改善、安定化させ、子供を安心して生み育てる環境を公的責任で維持する。府中病院は、常設の病床機能の再編分化を通じ、周産期医療と小児医療を除く診療科について、今後必要性が高まる回復期医療と地域包括ケアの中心的役割を担う。

意見 市民から市立病院への救急搬送要望が多数あるが、救急搬送全体の14%にとどまっている。今取り組んでいる地域医療構想が実現すれば、市民の救急搬送を約50%受入可能。まさしく本市の域内で市民の命を守る安心安全の仕組みが構築されるこれ以上ない市民サービスの向上を果たせる。こうした先進的な医療を積極的に取り入れて、市民の命を守る地域医療構想の実現に向けて泉大津市ワンチームで取り組んでほしい。



村田 雅利 (立志会)



質問

ライフライン整備の優先順位の考え方は？

答え

経過年数、重要度、ライフサイクルコストを勘案

質問

近年地球温暖化による異常気象、地震や台風など自然災害で多くの人々が被害に遭われている。本市には大津川があり、災害時には俊敏な計画、実効が求められる。災害が多発する状況を考えると、ライフラインの重要性、地域を活性化する意味も含め市内事業者の育成が必要と考える。①市が発注する事業や工事など市内事業者の受注割合と件数及び額は。②ライフライン等の整備状況について、老朽化、耐震化で事業としての優先順位の考え方は。③昨年の市内の水道工事の本数と今年度の本数は。

答え

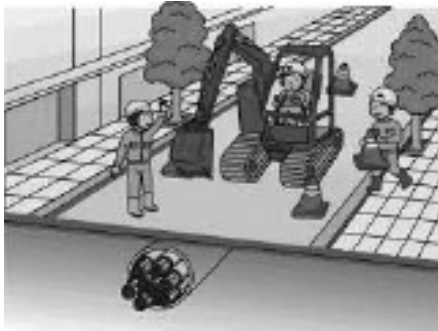
①平成30年度の総務課契約検査係が関与し、把握している130万円以上の全工事件数は、46件で、そのうち市内事業者は35件で受注割合は約76%となっている。総契約金額は約4億9400万円で、そのうち市内事業者は約3億1000万円、受注割合は約61%。②水道事業では老朽管は経過年数の長いもの、耐震化は重要度の高いものから行っている。

質問

橋梁、道路事業では健全度及びライフサイクルコストで優先順位をつけ行っている。③昨年度は管工事が4本で6906万6000円、舗装工事が3本で7872万1200円。今年度は11月末で管工事が8本で2億460万8000円、舗装工事が1本で3483万8100円。

要望

泉大津市においては災害時や休日時などの緊急時に市内事業所は、待機対応に臨んでいると聞いている。ライフラインの安全安心な整備の早期実施と市内事業所の受注の向上が泉大津地域の活性化へつなげる。そのような状況も含め事業計画、実施をお願いする。



◎その他の質問
・プレミアム付商品券について



林 哲二 (市民クラブ)



質問

9月より始まった中学校給食での食べ残しは？

答え

1人当たり1日53〜68グラムあり、課題と考える

質問

9月より中学校給食が始まったが、食べ残しについて具体的な数字を3中学校とも示せ。

答え

1日1人当たり9月分の残渣量は、3校全体で約53グラム。10月分の残渣量は、3校全体で約68グラム。

質問

給食の食べ残しについて何回か質問してきたが、まさに驚きの数字である。小学生は平均10グラムから20グラムで、少ないところは4グラムとか6グラムといった1桁のところもあった。それに対して中学生は1人当たり50グラムから60グラム残しているというのはかなり残し過ぎと思うが、見解を示せ。

答え

中学校の食べ残し量が小学校に比べて多い理由として、中学生1人当たりが必要とされる食事が小学生に比べて多いことや配膳の量がうまく調節できていないことなどが考えられるが、現状の食べ残し量については課題であると考えている。

質問

食の大切さを子どもたちが理解して、食べ残しが減るといのが理想であり、少し時間が必要であると思うが、諦めずに継続していけば、必ず光は見えてくると思う。現在の給食の味付けについても結構薄味という意見を聞くので、解消するように願う。ただし、栄養のバランス、カロリー計算、いろいろあると思う

要望

中学校の給食に関する食べ残しの件については、まずは食の大切



◎その他の質問
・緑の環境について



田立 恵子
(日本共産党)



質問

高齢者にとっては病院がなくなるに等しいのでは

答え

経営の安定化を図り質的な向上をめざすプラン

市内では唯一の総合病院である市立病院を、周産期・小児科に特化する

確保、市民・患者の医療へのアクセスについての影響をどう考えるか。

新たに建設する新病院は、現在の市立病院を引き継ぐだけでなく、救急受け入れの充実等により、今以上の医療提供が可能と考えている。

アクセスについての影響は一つの検討課題と認識している。

市の保健福祉行政とも連携し、医療・介護のネットワークを構築する上で、市立病院の果たしてきた役割は大きい。今後一層の高齢化が進展するもとの認識を問う。

本院の医療の質向上に向けた目標としても「高齢者にやさしい病院」を掲げており、ますますその役割は期待されていると考える。

市地域防災計画は、市立病院を災害医療センターとして位置づけている。新たな方針のもと、その役割を引き続き担うことができるのか。

連携先の生長会、市の関係部

局とも調整が必要となるが、新病院が市の災害医療センターとしても役割を引き継ぐ形で協議を進めたい。

病院の運営を民間に委ねて、緊急時に市の対策本部と連携して市民の命を守る役割を果たせるのかどうか、不安と疑問を抱く。

市の方針は、特に高齢者にとっては病院がなくなるに等しいのではないか。

回復期や地域包括ケアで高齢者が安心して医療を受けられる体制を整備、経営の安定化を図りながら、全体として質的な向上を官民連携して行っていく。

市民が何を求めているか、今一度、市民の声を聴いてほしい。

市民が何を求めているか、今一度、市民の声を聴いてほしい。



◎その他の質問
図書館構想について



野田 悦子
(市民みらいネット)



質問

駅前への新図書館移転は決定したのか？

答え

設計費は承認、工事費等は新年度予算で審議

広報いずみおおつに駅前新図書館ができる」と受け取れる記事が掲載されたが、市の施策の決定、変更には議会の承認が必要。この意味で設計の費用の承認以上の何も議会には話されていないので、決定したとは言えないと思うが、認識を示せ。

市として図書館駅前移転の方針を決定し、今年度、図書館設計の予算を承認いただいた。今後は新年度予算にて改修工事費や賃借料など、図書館移転に関する事業費をご審議いただきたい。

9月議会で図書館移転について議会内での議論を請う市民からの請願署名が否決されたが、否決した議員からも公共施設適正配置基本計画を一部変更し、議論を尽くすべきであったという旨の討論があった。

公共施設適正配置基本計画は、必要に応じて見直しを行うとあるが、第2期の3年後以降の計画の図書館と南公民館の複合化が図書館だけの移転とするのは大きな変更である。計画見直しの対象は？

計画の見直しは、当該計画が23年間の長期計画であり、南公民館を含め5年を目的に検証を行い後の計画に反映する事としている。

第1期終了時検討では新図書館が開設されている。これまで市から出された仮説の数字で新図書館に係る費用は実質利用19年で16億円。これを視察または資料の取り寄せを行った他施設に当てはめて比較する。八尾市の複合化施設である龍華図書館では、最新の機材や設備があり、複合施設のコミュニティセンターも素晴らしく、その建設費は13億円。公共施設維持費も、市が提示した数字で仮計算し、60年使用の図書館を建設した時の維持費込み総額を使用年数で割った年換算は、龍華図書館5250万円、新図書館は8421万円、大規模改修の公民館との複合化施設の河南町図書館2900万円になる。差額の3200万円を20年で計算すると6億3420万円であり、随分違う。どちらがいいのかある。

計画の見直しは、当該計画が23年間の長期計画であり、南公民館を含め5年を目的に検証を行い後の計画に反映する事としている。



溝口 浩
(公明党)



答え

施設は市内1か所
規模は30人程度を想定

質問

児童発達支援センターの
設置か所数と施設規模は

質問 第4次泉大津市総合計画後期基本計画（案）について、市民への説明会の実績と評価は。

答え 平成26年度にはシンポジウムを開催。出前講座のメニューにも登録、今月第1回目の出前講座を実施予定。評価は、さらなる工夫が必要。

質問 子ども・子育て支援で追記の児童発達支援の現状とセンター設置の認識は。

答え 就学前の発達に支援を要する子どもへの療育を行う幼児・親子教室を総合福祉センターで実施。平成27年度から発達支援担当として臨床心理士を常勤配置。児童発達支援センターは、平成24年の児童福祉法改正で、身近な地域で療育を受けられる障がい児通所施設と位置づけられ、各市町村でおおむね10万人に1か所設置が基本。本市も設置を検討中。

質問 地域福祉で追記の地域共生社会とはどういう理念か？また本市の方向性は。

答え 国は、地域共生社会を「制度・分野ごとの『縦割り』や「支え

手」「受け手」という関係を超えて、

地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と

資源が世代や分野を超えて『丸ごと』

つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創

っていく社会」と明記。本市は市民の支え合いと公的支援等が連動した

包括的な支援体制を構築し、すべての市民が地域で孤立せず、安心して

生活を送れる地域づくりを目指す。

質問 あしゅびプロジェクトの本計画案での位置づけは。

答え 「市民の健康づくりや病気に
ならない身体づくりを支援し、誰もがいつまでも健やかに暮らせること
のできるまちづくりを進める」に含
まれる。

質問 公園・緑地・河川での施策の展開方向について、文言訂正の背景は。

答え 本年6月改定の「ともいき泉
大津」、7月策定の泉大津市公園整備
マスタープランの策定過程における
市民意見等を反映。



森下 巖
(日本共産党)



答え

更新で水道代が高くなり
3市で困難と判断

質問

災害時の2次水源として
も信太山浄水場は存続を

質問 災害時の避難所、福祉避難所の在り方、2次水源の重要性について質問する。避難所生活での困難に

プライバシーの確保、暑さ寒さ、トイレの問題などがある。障がいのある

人や小さい子がいる場合、生活するのが困難、迷惑をかけると避難を

ためらうケースがある。安心して避難できる生活環境にする必要がある。

まず、男女の更衣室、授乳室の場所は事前に決めているか。

答え 場所の特定はしていない。避難所運営組織で状況に応じて決める。

質問 男女で離れた場所にするなど決めておく必要がある。次に、熱中

症など健康問題にも関わるエアコン設置はどう進めていくか。

答え 導入方法など、他市の状況も調査し検討している。

質問 次に、避難所内の間仕切り、段ボールベッドは確保しているか。

答え 間仕切りは体育館面積の約5割、4人世帯での使用で60区画240人分になる。段ボールベッドは整備していないので大阪府へ要請。

質問 ベッドがなければ立ち上がり

が困難な人は避難しようとはならない。福祉避難所の対象になるが、障

がいや小さい子のいる場合も対象になり、事前に福祉避難所について市

民に知らせる必要があるが見解は。

答え 受け入れ体制が整う前では、混乱の恐れがあり事前周知を行っていない。

要望 事前に知っていなければ迅速な避難につながらない。その考えを

改め、市民に福祉避難所の存在を知らせるべきである。また通所型の施設にも避難者が集まる。連携して救

援物資などが滞らないよう要望する。

質問 災害時の2次水源として重要な信太山浄水場の位置付け、廃止の方向性が出されているが見解を問う。

答え 水需要増による自己水の確保を目的に設立。水需要減少や施設の老朽化等により終焉の方向になった。

要望 安価で良質の水、災害時の貴重な役割があり、水の専門家が現状でも最低限の改修で使い続けられると診断しており、強く存続を求める。



貫野幸治郎

(おづ)



質問

図書館は従来の考え方でなく発想転換が必要ではないか

答え

新図書館は人の交流やまちづくり拠点も目指す

質問 アルザ所有者との契約内容や交渉過程について、順調な展開か、契約締結がいつか。説明を願う。

答え 専門家の見識を伺いながら適正な契約締結に向けて調整中で、令和2年度の早い段階で締結したい。

質問 駅前商業施設を賃借する選択だが、一番の理由とメリットは。

答え 泉大津駅高架下の整備等活性化が図られている駅前エリアに集客力の高い図書館を「機能強化」し新たなまちづくりの拠点として整備することにより、恒常的にぎわいや関係人口の増加を創出。また今後、社会情勢や環境の劇的変化が予想され、公共施設の在り方や運営についてのニーズがますます変化していく状況の中、今後の動向に柔軟に対応できる施設運営も一つの選択肢であることから賃借による整備を決定。

質問 公共施設に対する考え方が有識者や自治体間で変化してきている。ランニングコストに対しての意識変化である。自己物件であれば、今後の動向に柔軟に対応する点で劣

り、いつまでも維持コストがかかり財産がマイナス要因か疑わしい状況が派生する。この点の見解は。

答え 新図書館整備に当たり質問のランニングコストに対する観点に加え、ニーズや動向に柔軟に対応するため望ましい手法として判断した。

質問 設計事務所は東京、横浜に事務所を構えているが、基本設計段階における市民の意見の取り入れは。進捗状況と今後の進め方を示せ。

答え 市内全域において設計や今後の図書館プログラムに反映すべくフールドワークを実施し、発表会を市民参加で開催。本市と同様に商業施設内にオープンした神戸市内の図書館を市民と見学し、本市の図書館について模型を見ての意見交換を併せて実施。また泉大津市内に設計分室を開設し、幅広く意見を取り入れる取り組みを実施。日々の活動をインスタグラムなどのSNSでも発信。

現在、基本設計を固める段階で、今後は具体的な設計を進めるための実施設計を行っていく。



高橋 登

(会派に属さない議員連合)



質問

市立病院を府中病院と統合再編し民営化するのはか

答え

現病院をこども病院にし公設民営の新病院を建設

質問 市立病院と府中病院との統合案が示されたがどちらからの提案か。

答え 府中病院からの申し入れ。

質問 協議はどの部署でいつからか。

答え 8月1日から成長戦略会議で。

質問 成長戦略会議に病院当局は参加しているか。

答え 病院当局はメンバーではないが必要に応じて参加している。

質問 市立病院の経営悪化の状態から脱却を図るため抜本的な対策が必要との事だが、病院当局も同じか。

答え 市長部局の認識だが、病院当局も同様の理解である。

質問 先の議員総会で病院事業管理者から今回の問題に関して「ほぼ寝耳に水なわけです」と答弁があり、唐突に提案されたとの印象だが、経営形態の変更については、市長の専権事項であるという認識か。

答え 「寝耳に水」と言うことではなく、もしかすると市立病院がよみがえる可能性があるという意味。

質問 平成25年に公営企業法の全部適用で病院経営の弾力化、権限強化

との観点から提言したが、市立病院の進めてきた経営改革の失敗、破綻が民間病院と統合の契機との認識か。

答え 公立病院を取り巻く環境変化と改革プランの進捗状況によるもの。

質問 病院経営陣の経営責任は。

答え 病院当局側に経営責任はあるが、外部要因もあり判断していない。

質問 市長選の時に今の病院の体制を堅持し、病院経営を改善していくと言っていたが変わったのか。

答え 公的役割を残すための公設民営。市立病院はなくなるらない。

質問 市民の意見と合意の方策は。

答え パブリックコメント、各所に出向いての説明会等を検討。

質問 平成25年3月に市民アンケートが実施され、48%の市民が「市立病院の経営が悪化しても市が責任をもって運営すべき」と回答しているが、アンケートを取る予定は。

答え 現状ではない。

要望 市民に説明責任を十分果たし、令和2年末の市長選挙の焦点にしてもらいたい。



中村与志子 (会派に属さない議員連合)

質問

新規公共施設事業の市民への賛否の問い方は？

答え

必要に応じ適宜、市民の意見聴取を行う

質問 図書館駅前移転、市民会館跡地活用、新市立病院建設は、徳単位の施設整備で、本市の今後の他の公

共施設整備や保育士不足解消などのソフト面などの事業にも大きく影響を及ぼすと予測する。資料や財源のシミュレーションを示し、議会で話し合う時間をとり、検証するべきと考える。また、市民にどれほど借金をしてこの計画を進めるのかを

実行する前に市民は知る権利があり、特に100億円で建設を予定されている市立病院に関しては、借金が今後続いてでも病院を必要としているのかを市民に選挙や住民投票によって問うべき事業と考える。市民への周知や、各町会、近隣住民への説明はどのような手法で行うのか、タイムスケジュールもあわせて問う。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

今年増大している待機児童数

や保育申請数から①令和2年度に幼稚園のことも園化の計画は。②待機児童を解消するための幼児教育施設整備の計画は。

質問 ①令和2年度に幼稚園をこども園化する計画はない。②就学前教育・保育施設は、ニーズに合わせた必要な量を確保できている。待機児童解消のための施設整備の必要性はない。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

質問 新たな事業の財政シミュレーションが組まれていない状態で子育て世代が保育を必要としている状況を放置したまま、公共施設適正配置基本計画にも示されていない新たな計画の図書館駅前移転や市民会館跡地計画の整備を市民との合意形成を図らず急いで実行しようとしているのはなぜか。

要望する。



大塚 英一 (公明党)

質問

パートナーシップ宣誓証明制度の見解は？

答え

啓発を通じ市民理解の深まりを見極め検討する

質問 性の多様性を尊重する社会について質問するが、なぜ今回この質問をするに至ったかというところをトランスジェンダーの人よりご相談を

いただいたからである。その相談者パートナーの方がご病気で亡くなられた際に大変厳しい現実と直面したことを語られ、そのうちの一つに病院での対応があった。パートナーの方と正式な婚姻関係にないことで

病院から病状や治療内容の説明を受けることができず、また立ち合いもできず大変つらい思いをしたと語られた。そしてその相談者は、ある程度の制定を強く訴えられた。それはパートナーシップ宣誓証明制度である。ここ最近パートナーシップ制度を実施する自治体が増えてきており

近隣市では堺市が本年4月より開始している。本市としてこうしたパートナーシップ制度についてどのような考えを持っているか見解を示せ。

質問 性的多様性を尊重する社会について質問するが、なぜ今回この質問をするに至ったかというところをトランスジェンダーの人よりご相談をいただいたからである。その相談者パートナーの方がご病気で亡くなられた際に大変厳しい現実と直面したことを語られ、そのうちの一つに病院での対応があった。パートナーの方と正式な婚姻関係にないことで病院から病状や治療内容の説明を受けることができず、また立ち合いもできず大変つらい思いをしたと語られた。そしてその相談者は、ある程度の制定を強く訴えられた。それはパートナーシップ宣誓証明制度である。ここ最近パートナーシップ制度を実施する自治体が増えてきており近隣市では堺市が本年4月より開始している。本市としてこうしたパートナーシップ制度についてどのような考えを持っているか見解を示せ。

質問 性的多様性を尊重する社会について質問するが、なぜ今回この質問をするに至ったかというところをトランスジェンダーの人よりご相談をいただいたからである。その相談者パートナーの方がご病気で亡くなられた際に大変厳しい現実と直面したことを語られ、そのうちの一つに病院での対応があった。パートナーの方と正式な婚姻関係にないことで病院から病状や治療内容の説明を受けることができず、また立ち合いもできず大変つらい思いをしたと語られた。そしてその相談者は、ある程度の制定を強く訴えられた。それはパートナーシップ宣誓証明制度である。ここ最近パートナーシップ制度を実施する自治体が増えてきており近隣市では堺市が本年4月より開始している。本市としてこうしたパートナーシップ制度についてどのような考えを持っているか見解を示せ。

質問 性的多様性を尊重する社会について質問するが、なぜ今回この質問をするに至ったかというところをトランスジェンダーの人よりご相談をいただいたからである。その相談者パートナーの方がご病気で亡くなられた際に大変厳しい現実と直面したことを語られ、そのうちの一つに病院での対応があった。パートナーの方と正式な婚姻関係にないことで病院から病状や治療内容の説明を受けることができず、また立ち合いもできず大変つらい思いをしたと語られた。そしてその相談者は、ある程度の制定を強く訴えられた。それはパートナーシップ宣誓証明制度である。ここ最近パートナーシップ制度を実施する自治体が増えてきており近隣市では堺市が本年4月より開始している。本市としてこうしたパートナーシップ制度についてどのような考えを持っているか見解を示せ。

また広く性的マイノリティの人権問題

題について、国では法整備についての議論がなされ、大阪府では11月に性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例が制定されるなど、制度の検討に向けた要件は整いつつあるという認識を持っている。しかし性別の区分は男女だけという固定的な価値観が多数を占めている実情もあり、さまざまな啓発の取り組みを通じ市民の性的マイノリティに対する理解が深まっていく中で、制度導入について見極めたいと考えている。

質問 パートナリシップ制度制定には3つの意義があると考える。1点目はこの制度を通じて性的マイノリティに対する理解が深まる機会が増えること。2点目は性的マイノリティの方がより声を上げやすくなる後ろ盾になること。3点目は制度制定自治体が増えることにより国における法整備の議論を加速させることにつながることである。現に制度制定を求める声がある。ぜひとも前向きに検討してもらいたいことを強く要望する。

質問 パートナリシップ制度制定には3つの意義があると考える。1点目はこの制度を通じて性的マイノリティに対する理解が深まる機会が増えること。2点目は性的マイノリティの方がより声を上げやすくなる後ろ盾になること。3点目は制度制定自治体が増えることにより国における法整備の議論を加速させることにつながることである。現に制度制定を求める声がある。ぜひとも前向きに検討してもらいたいことを強く要望する。

質問 パートナリシップ制度制定には3つの意義があると考える。1点目はこの制度を通じて性的マイノリティに対する理解が深まる機会が増えること。2点目は性的マイノリティの方がより声を上げやすくなる後ろ盾になること。3点目は制度制定自治体が増えることにより国における法整備の議論を加速させることにつながることである。現に制度制定を求める声がある。ぜひとも前向きに検討してもらいたいことを強く要望する。

質問 パートナリシップ制度制定には3つの意義があると考える。1点目はこの制度を通じて性的マイノリティに対する理解が深まる機会が増えること。2点目は性的マイノリティの方がより声を上げやすくなる後ろ盾になること。3点目は制度制定自治体が増えることにより国における法整備の議論を加速させることにつながることである。現に制度制定を求める声がある。ぜひとも前向きに検討してもらいたいことを強く要望する。

質問 パートナリシップ制度制定には3つの意義があると考える。1点目はこの制度を通じて性的マイノリティに対する理解が深まる機会が増えること。2点目は性的マイノリティの方がより声を上げやすくなる後ろ盾になること。3点目は制度制定自治体が増えることにより国における法整備の議論を加速させることにつながることである。現に制度制定を求める声がある。ぜひとも前向きに検討してもらいたいことを強く要望する。



平成31年・令和元年
視察来庁市町村議会



議会だよりが変わります！

ぞうご期待！！



市議会では、広報広聴委員会を立ち上げ、市民のみなさんによりわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面作りを目指しています。

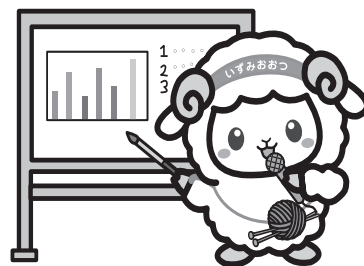
この号から、議員の一般質問ページの文字を大きくし、タイトル部分のレイアウトを変更しました。

また、各議員の一般質問の録画放送にQRコードを付け、簡単にアクセスできるようにしています。

これからもさまざまな工夫をし、見やすい紙面になるよう取り組んでいきます。



団体名	訪問月日	調査項目
栃木県真岡市議会	1月25日	セーフコミュニティ事業について
大阪府泉佐野市議会	1月28日	タブレット端末の導入について 選挙投票率向上に向けての取組みについて
山形県東根市議会	2月7日	議会基本条例の制定と議会改革について 議会傍聴よびかけ隊について タブレット端末の運用状況について
東京都西東京市議会	7月2日	業務改革推進支援業務について
宮城県気仙沼市議会	7月3日	幼保一体化施策と泉大津市立認定こども園整備事業について あしゆびプロジェクトについて ココフレア（泉大津市立健康福祉プラザ）利用状況について
大分県杵築市議会	7月8日	インターネットによる議会中継について 議会改革の取組みについて
山口県光市議会	7月18日	議会改革について
富山県南砺市議会	7月23日	セーフコミュニティ事業について
和歌山県和歌山市議会	8月20日	あしゆびプロジェクトについて ドローンスクールの誘致について
和歌山県日高郡 町議会事務協議会	8月27日	タブレット端末の運用状況について
岐阜県羽島市議会	10月2日	泉大津市セーフコミュニティ事業について
大阪府貝塚市議会	10月3日	タブレット端末の導入について
千葉県野田市議会	10月8日	南海本線（泉大津市）連続立体交差事業について
東京都調布市議会	10月9日	業務改革推進プロジェクトについて
静岡県袋井市議会	10月17日	議会改革の取り組みについて
東京都小平市議会	10月25日	業務改革推進プロジェクトについて
茨城県石岡市議会	10月29日	業務改革推進支援業務について
愛知県武豊町議会	11月6日	新消防本部庁舎建設の経緯と概要について
北海道岩見沢市議会	11月8日	あしゆびプロジェクトについて



議会の動き

- 11月22日 厚生文教委員会協議会
- 11月25日 総務都市委員会協議会
- 12月 2日 議会運営委員会
- 12月 4日 本会議
～ 5日（一般質問、議案審議）
- 12月12日 議会運営委員会
- 12月13日 本会議最終日
（議案審議）

用語解説

※一般質問 ____ 部分の解説

○5G

第5世代移動通信システムの略称で、「超高速」だけでなく「多数接続」や「超低遅延」といった新たな特徴を持つ。Gとは「Generation」の頭文字をとったもの。

○トランスジェンダー

「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。

委員会視察

委員長報告の概要等を掲載しています！

先進都市の取り組みを視察しました。

総務都市委員会

視察日

令和元年10月15日から16日

視察先及び視察項目

- ・埼玉県飯能市
「魅力ある都市回廊空間づくりのためのブラッシュアッププロジェクト」
- ・東京都狛江市
「えきまえ広場におけるネーミンググラフィックの導入について」

委員長報告の概要

東京都豊島区南池袋公園（現地視察）
埼玉県飯能市では、従来から保有するトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園を生かしてメッツァを誘致。メッツァピレッジ及びムーミンバレーパークと飯能河原・天覧山周辺、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園とが連携し、回遊性の向上を図り、市域全体の人の流れを作り、地域活性化に取り組んでいた。

東京都狛江市では、市の財源確保の手段として、えきまえ広場にネーミングライツの導入を行い、スポンサー集めの苦労や契約金額の設定、公園の維持管理費

用の収支についての実情を聞き、泉大津駅高架下広場の参考と考える。

南池袋公園では、芝生広場、多目的広場、サクラテラス、キッズテラスにカフェエレストランが併設され、ほっとする居心地のよさから都心のオアシスと感じられた。立地環境面また収支状況で言えば、都市公園の施策として成功だと思ふ。



厚生文教委員会

視察日

令和元年10月24日から25日

視察先及び視察項目

- ・東京都武蔵村山市
「小中一貫校の取り組みについて」
- ・神奈川県横浜
「コミュニティ・スクールの取り組みについて」

委員長報告の概要

武蔵村山市では、施設完全一体型、施設隣接型、施設分離型の小中一貫校を順次開校。現在は3つの型の小中一貫教育それぞれの特徴に応じ、自立した1人の

人間としての「人間力」の育成に取り組んでいる。最も大切なことは「教職員の意識改革」で、「9年後の思い描く子ども」の姿が一致する教職員の共通理解が大切である」が特に印象に残った。小中一貫教育の実現は、教育長のリーダーシップ、全教職員の共通の目的意識の共有、市民の声の反映など、コミュニティ・スクールとの両輪で進めてきたことである。

横浜市では、神奈川県初のコミュニティ・スクールとして開校した東山田中学校併設のコミュニティハウスの存在に驚いた。学校内に「地域活動の場」「学校と地域をむすぶ場」として併設。「人と情報」がつながるよう工夫し、「情報の共有」からスタート。コミュニティカレンダーの作成プロセスで一体感が生まれ、連携協働が進んでいる。本市も地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの充実に取り組んでいきたい。



議会運営委員会

視察日

令和元年11月20日から21日

視察先及び視察項目

- ・滋賀県彦根市議会
 - ・石川県加賀市議会
- 「議会改革の取り組みについて」

委員長報告の概要

彦根市では、視察対応プロジェクトチームが編成され、本市と同様、議員自らが司会進行等を行い、熱意が感じられた。改革の取り組みでは、議場解放促進委員会・広報委員会・広聴委員会を立ち上げ、それぞれが役割分担し、機能する仕組み作りが構築されていた。市民アンケートや子ども議会の実施、教育委員会と連携しての小・中・高校生の授業の一環としての議会傍聴などさまざまな先進的な取り組みをされていた。議員活動が市民に伝わるのが目的だということ、議会全体での統一認識として行動しているところは大変参考になった。

加賀市では、議会基本条例のコンセプトとして、①開かれた議会②市民が参加する議会③政策提案する議会④監視する議会⑤審議する議会の5つがあり、本市より一歩進んだ改革だと感じた。本会議場において、能楽の上演や九谷焼の展示など開かれた議会を目指し、できることはすべてやろうという気概を感じた。本市より特に先進的な点は、議会だよりモニター員や子ども議会だけでなくとどまらず、小・中・高校生議会や女性議会を開催するなど、常に新しい取り組みに挑戦している点が評価されていると感じた。



第3回定例会で決めたこと

泉大津市下水道事業の設置等に関する条例制定の件、

令和元年度泉大津市一般会計補正予算の件などの議案を審議しました。

本定例会では、泉大津市下水道事業の設置等に関する条例制定の件、令和元年度泉大津市一般会計補正予算の件などの議案が17件、「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書の件の議会議案が1件上程され、それぞれ可決しました。

主な議案内容

泉大津市下水道事業の設置等に関する条例制定の件

総務大臣通知「公営企業会計の適用の推進について」の趣旨に鑑み、下水道事業の経営状況を的確に把握し、将来にわたって持続可能な下水道事業経営を確保するため、下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するに当たり、下水道事業の設置及びその経営の基本に関する事項を条例で定めるもので、審議の結果、全会一致で可決しました。

泉大津市火災予防条例の一部改正の件

総務省消防庁通知「違反対象物に係る公表制度の実施の推進について」の趣旨に鑑み、消防法令に関する重大な違反のある防火対象物について、その法令違反の内容を公表することにより、利用者等の防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るとともに、防火対象物の関係者による防火管理業務の適正化及び消防用設備等の適正な設置促進に資するため、所要の改正を行うもので、審議の結果、全会一致で可決しました。

令和元年度泉大津市一般会計補正予算の件

一般会計に7億2049万6000円を追加し、総額281億4300万3000円とするもので、主な内容は、児童福祉総務費に係るプログラム変更委託料139万2000円、粗大ごみ収集委託料205万6000円、資源ごみ収集委託料1134万2000円、道路補修工事費1000万円の増額や他会計への繰出金、財政調整基金積立金などで、審議の結果、全会一致で可決しました。

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正の件

一般職の職員の給与改定が実施されることに伴い、特別職の職員の期末手当についても適切な措置を講ずるため所要の改正を行うもので、審議の結果、賛成多数で可決しました。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件

一般職の職員の給与改定が実施されることに伴い、議会の議員の期末手当についても適切な措置を講ずるため所要の改正を行うもので、審議の結果、賛成多数で可決しました。

人事案件

人事案件として、次の方を選任することに同意しました。

公平委員会委員

溝口和彦氏

※ 下記意見書の詳細はホームページをご覧ください。

意見書

「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書(要旨)

①「あおり運転」の規定を新たに設け、厳罰化については、危険運転を行った場合のみでも道路交通法上、厳しく処罰される海外の事例なども参考としながら、実効性のある法改正となるよう、早急に検討を進めること。

②運転免許更新時における講習については、これまでの交通教則による講習に加え、あおり運転等の危険性やその行為が禁止されていること及びその違反行為に対しては取締まりが行われることについての講習も行うこと。また、更新時講習に使用する教本や資料などに、これらの事項を記載すること。

③広報啓発活動については、あおり運転等の行為が禁止されており、取締りの対象となることや、「あおり運転」を受けた場合の具体的な対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のホームページ、SNSや広報誌などを効果的に活用し、周知に努めること。

令和元年第3回定例会で右記の意見書を可決し、関係官庁等に送付しました。

第3回定例会での議決結果一覧

【条例の制定・一部改正】

- 泉大津市下水道事業の設置等に関する条例制定の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための
関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 泉大津市下水道条例の一部改正の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 泉大津市火災予防条例の一部改正の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正の件・・・・・・・・・・・・・・可決（賛成多数）
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件・・・・・・・・・・・・・・可決（賛成多数）

【予算】

- 令和元年度泉大津市一般会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 令和元年度泉大津市土地取得事業特別会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 令和元年度泉大津市国民健康保険事業特別会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 令和元年度泉大津市介護保険事業特別会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 令和元年度泉大津市後期高齢者医療特別会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 令和元年度泉大津市下水道事業特別会計補正予算の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）

【その他の議案】

- 指定管理者の指定の件（議案第31号）・・・・・・・・・・・・・・可決（賛成多数）
- 市道路線の認定の件・・・・・・・・・・・・・・可決（全会一致）
- 公平委員会委員の選任について同意を求める件・・・・・・・・・・・・・・同意（全会一致）
- 指定管理者の指定の件（議案第43号）・・・・・・・・・・・・・・可決（賛成多数）

賛否の公表

賛否が分かれた議決事件につきましては、下の表のとおりです。

事 件 名	議席番号																議決結果
	議 員 名																
	1 村岡均	2 溝口浩	3 大塚英一	4 中村与志子	5 池辺貢三	6 谷野司	7 野田悦子	8 高橋登	9 村田雅利	10 堀口陽一	11 林哲二	12 丸谷正八郎	13 中谷昭	14 貫野幸治郎	15 森下巖	16 田立恵子	
指定管理者の指定の件（議案第31号）	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
特別職に職員の給与に関する条例の一部改正の件	○	○	○	×	—	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	○	○	○	×	—	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
指定管理者の指定の件（議案第43号）	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	可決

※議長は表決に参加しないため、表決結果は—になっています。

※表の見方 ○：賛成 ×：反対

議場コンサートに来ませんか？

◎入場無料

昨年度市議会で初めて開催し、ご好評いただいた議場コンサートを今年度も開催します！

曲目は「クラリネットこわしちゃった」などで、一緒に歌うお楽しみコーナーもあります。ぜひお越しください！

- ♪ 日 時 2月29日（土）午前11時～正午（午前10時30分開場）
- ♪ 場 所 泉大津市役所5階（議事堂）
- ♪ 定 員 先着100名
- ♪ 出 演 泉大津市混声合唱団
- ♪ 申込方法 ・ 窓口申込 泉大津市役所5階議会事務局（開庁時間内）
・ 郵送申込 住所・氏名・電話番号・同行者名（4名まで申込み可）
を記入し、往復はがきで議会事務局宛てに郵送
- ♪ 受付期間 2月3日（月）から2月18日（火） ※定員に達し次第締め切ります

